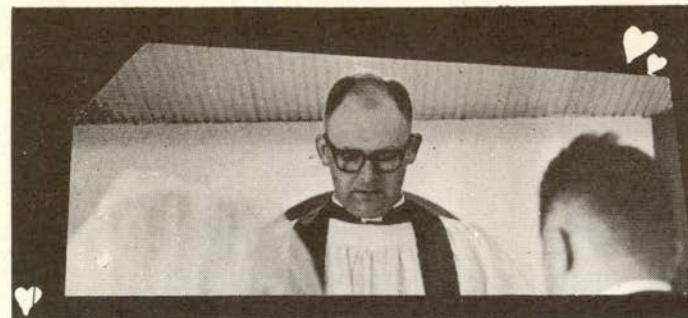


ああ 結婚



♥ アメリカで学生国際結婚

——今日はお集まりをいただき、ありがとうございます。最初に自己紹介からお願ひしますか。

ギャンブリン ギャンブリンです。日本キリスト教団の宣教師です。これは家の治子です。

シルマー シルマーです。ドイツ領事館に勤めています。家内のウ

タ子です。

松岡 松岡です。絵かきをやって

おります。家の峯です。

——まず結婚当時の思い出からお

話いただきたいと思いますが

ギャンブリン 私達は十五年前にアメリカで結婚したんです。家内

は神戸生まれなんですが、アメリカ

に留学していた時に知り合い、一

九五〇年六月十日に結婚したんで

す。

治子夫人 私は一九四八年九月に渡米して、はじめはテネシー州に留学したんですけど、一年でニュージャージーに転校したんです。

——そこに主人が居ましてね。知り合ったわけなんですよ。

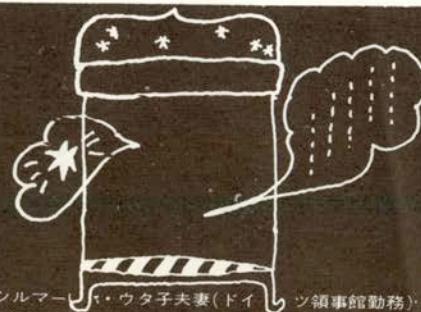
式はどこで挙げられましたか

ギャンブリン ニュージャージーで、私の父が牧師をしていたんです。

それで父の教会で父が式を行ないました。

治子夫人 その日は私の母の誕生日にあたるんですよ。それで感謝をこめて、また良い記念になると思つて……。ちょうど土曜日の午後で、式の後、旅行に出たんです。

ギャンブリン ニュージャージーのオーション・グローブという所に行きました。海岸なんですよ



■ 松岡実一・峯夫妻(画家)

■ ウィリー・シルマー

■ ウタ子夫妻(ドイツ領事館勤務)

■ A・E・ギャンブリン・治子夫妻(牧師)

治子夫人 二人とも学生でお金がありませんでしょ。十日に式を挙げて十一日の夜には帰つてきて、十四日から二人で働き出したんです。(笑)とにかく私は結婚が目的で留学したわけではありませんしね。卒業だけはしたいと思つていました。

— ずいぶんお忙しかったんですね。

♥三人でデート

治子夫人ええ、それは忙しかつたですね。それに主人と私と専攻科目が違いまして、試験とか論文の提出期限がずれているんですね。

それで一緒に映画にでも行こうかという時に困りましたね。(笑)今から思うと、よくあんな事をしたくなあと思いますし、他の人にはとてもおすすめたくないですね。

— シルマーさんはいつごろ結婚されたんですか。

ウタ子夫人 やはり十五年前ですね。その頃、私は大阪に勤めていて駅で電車を待つてたんです。その頃主人の方も天王寺に勤めて神戸から通っていたんですね。

シルマー 私は急行で来るんですね。が、家内の方は普通のホームで待つているんです。それで一年ばかりずっと顔をみつめていました(笑)十一月にはじめて声をかけたんです。

ウタ子夫人 一年間顔をみていたという事は、私は全然知らなかつたんですよ。毎日同じ電車で下りがくるなと思ってたんですね。六ヶ月くらいしてから、まあ自然に頭を下げるくらいで言葉も分りませ

んし、分らないと思いつこんでいましたから黙つて通つていたんです。そしたらクリスマス前にはじめて声をかけてきましたね、主人が。

— それでもうこわくて……(笑)

シルマー そのときは断られて、それでは明日ならないですかって言つてね。(笑)

ウタ子夫人 その日は会社に行つてからも一日中お友達に相談しましてね。結局、それなら私がついていてあげようという事になつて、一番親しい友達がついてきてくれたんです。それから三ヶ月くらいはどこへ行くのも三人一緒に

した。(笑)

シルマー もう、シビレがきれてしまつてね(笑)二人で話をしようと思っているのに、どこに行つてもついて来る(笑)

ウタ子夫人 その方とは今もおつきあいをしているんですけど、その話がでるたびに笑うんですよ。それで話が決まられたのは、いつ頃でしたか。



シルマー・ウタ子夫人

シルマーさん

ウタ子夫人 それから一年くらいしましてね。といいますのも主人の前の奥さんが子供を残して家を出てしまつたんですよ。それで慌てて結婚したんですけど、それまでは両親にも言つてなかつたんです。それで母に結婚させて欲しくて話をしたんですけど、絶対にいけないって反対されましてね。外人と聞いて兵隊さんと間違つて、もし、向うに行くようになつたら困るし国際結婚っていうのは破綻が多いからっていうんです。それで私が荷物を一つもつて飛び出してきました。私が十九才の時でした。(笑)

— 結婚式はなさったんですね。

ウタ子夫人 いいえ、そんな(笑)ですから式は挙げていらないんですね。嫁いだその日から向う鉢巻で、子供の世話をなんですよ(笑)一番上が九才で七、五、二才と統いて、二つの子なんか親の顔を忘れてましてね、その日からママ、ママつて後をついて来るんです。(笑)もし結婚したとしても、私が三日で逃げて帰るだろうというのが、大方の予想なんですよ。(笑)それで会社を辞めるときも、上の方が休職にしておけばもしもの時にすぐに会社に戻れるから休職にしときなさいっておっしゃつて下さつたりしたんですね。(笑)でも私にすれば一度結婚した以上帰る意志はありませんでしたしね。まあ、今はどうにかやつていいけるようになつたんですけれどもね。

♥結婚一年で兵隊へ

— 結婚歴では松岡さんが一番で

しょうか、いかがですか。

松岡 まあ、よもやこんな話にならうとは思いませんでした。(笑) 今、皆さんのお話をうかがいながら一生懸命計算しておったんだす。

峯夫人

二七年くらいですね。

松岡 こういう計算は女性の方が早いですね。(笑)

峯夫人 でも、間で七年ほど兵隊にとられていましたから――松岡さんが結婚された頃は時代としては良き時代だったわけですか。

松岡 それはまだ負ける気配もあ

りませんでしたし、こちらもその積りで行つたんです。(笑)

峯夫人 あんなに遅く召集がくるとは思いませんでしたね。

松岡 召集が来たときは、ちょうど小磯良平先生の所にいましてね

峯夫人 お正月でしたね。それに先生が賞をおもいになつたお祝いをしようといつてた日に召集令状がきたんですよ。

松岡 アトリエでずいぶんご馳走が出たんですが、いつこうに喉を通りませんでね。(笑)

――ご結婚後どの位だったんですか。

峯夫人 一年と少しですね、それまでは朝日新聞にいたのを辞めて、宝塚に入った頃でしたから――朝日新聞におられたんですか。

松岡 ええ、営業の方にいたんですけど、ちょうどその頃、雑誌の表紙を油絵にするのが流行しまして

『新女苑』とか、そういう雑誌がみんな油絵になっていたんです。それで宝塚で出している『歌劇』の表紙も油絵でやることになりました

か。

松岡 ええ、神戸です。
峯夫人 神戸で生れて神戸に根がはえてしまいましたね。(笑) 神戸の他はどこへも行つたことがないんです。

――式はどこでなさったんですか。

松岡 家で親戚のものに集つてもらいましたね。家でやつたんです。

――新婚旅行にはいらっしゃいましたか。

松岡 どうも面白ないんですけど、やつてないんですよ。(笑)

――その頃の思い出話を何かお話をくださいませんか。

松岡 そうですね。ほくの所は家が焼かれましたね。帰ってきたたら何もない焼野原なんですね。その頃妹が灘にいましたので、しばらくそこにいたんですが、住いに困りましたね。丁度、小磯先生の所

がお家は焼かれたんですが、土蔵は残つていたんです。それを拌借して大分長い間ご厄介になりました。

峯夫人 三年ぐらいましたね。

――小磯先生もそこにおられたんですね。

松岡 いいえ、小磯先生は塩屋の方へしばらくおられてから魚崎へ行かれ御影に移られたんです。きっとご自分の家の無残な焼け跡に住むのはおイヤだつたんでしょうね。

峯夫人 それで土蔵をお借りしてたんですが、足場がいいものですから、汽車がなくなつたとか何とかいっては皆が泊まりに来たりしましたね、楽しかったですね。

松岡 その頃は絵かきの氣のきえ。――ご結婚なさったのは神戸です



ギャンブリンさん



松岡峯夫人

松岡寛一さん

た人は商売をやつたりしてた頃でしてね。ほんなんかはそっちの方は全然ですから、おとなしく勉強してたのが多少役に立ちましてね。その頃の勉強を今なしくすしに使い果しているところです

(笑)

——小磯先生の所はずいぶん広かつたんじゃないですか。

松岡 広かったです。三千坪くらいあつたでしょ。

峯夫人 そこに焼け跡を堀つては

カボチャやおイモを植えたんです

それがお盆前に大事にしていた大

きなおイモが朝起きてみると、葉

っぱだけあって下はみんな盗られ

てしまってるんですね。(笑)それ

からアヒルを飼いましてね。その

アヒルが夜中に逃げ出してしまい

ましてそれを主人が追っかけてお

まわりさんにとめられましてね:

松岡 泥棒と間違われたというわ

けです(笑)おまわりさんからみ

れば夜中のことだし妙な格好をし

ていましたからね。

♥ボク太平洋の真ん中で生れたの?

——今日は国際結婚をなさったご夫婦が二組出席なさってるわけなんですが、そういう面からのアドバイスをお願いしたいんですけど。ギャンブリンまあ、国際結婚というのは普通の結婚に比べてわりに珍しいでしょう。それだけに問題もありますし面白いところもありますが、何といっても大きな問題は子供の教育という事ですね。例えば私達の場合は家内は日本人私はアメリカ人、子供は半分ずつですね。それで子供をどちらの半

分にしようかと(笑)というのは子供をアメリカ人として育てた場合は日本人の血がおしいですね逆に日本人として育てた場合にはアメリカ人の血がおしいです。そこのミックスが非常にむつかしい(笑)特に子供はすぐに覚えてすぐに忘れますからね。例えば家の子ですと日本にいる間は日本人になるんです。それがアメリカに帰ると六週間くらいでアメリカの子供になります(爆笑)治子夫人 その間のバランスをとるのがむつかしいですね、子供達にはあんたの方は半分半分なんだかうつって事はいってあるんですが、はじめのうちは言葉だけで受取つて、上の子が四つくらいのとき私に聞くんですよ。「ボクは太平洋の真ん中で生れたの?」って(爆笑)それでどうしてなのって聞き返すと、半分半分というんだから自分達は日本人でもないしアメリカ人でもない。だからちょうど平洋の真ん中で生れたのに違いないって考えたらいいんです。だからその時に半分半分というのは、私が日本人でお父さんがアメリカ人だからあなた方は純粹の日本人でない、そういう意味で半分半分なんだと説明して、やつと分つたらもなければ純粹のアメリカ人でもない、親子の間も円満にくようになつたんです。でもむこうも自分が日本人であります。私も奥さんが家を出たんだ子ですし欲がりまして、一番下の子をあげたんです。上の子は今ロスアンゼルスにいますが、手紙をよくくれます。私自身は主人を信頼して、現在は幸福になつていますしね。かりに人種がちがつても、相手を信頼してついてゆくという事が女には大切だと

——話し合いなどはシルマーラーさんの方からなさるわけですか。

自分達は不幸な子供なんだというみじめな気持ちをもつて大きくなつてもらいたくないって事ですね。むしろ、それを誇りにして育つてもらいたいと思つています。——シルマーラーさんの場合などはいかがでしょう。

ウタ子夫人 私は先ほどのお話を逆によく考えて結婚したというわけではないんです。私自身も若かったですし、時代も戦後の混乱期だし、両親をはじめ家中の者が結婚に反対しましたし……私が入つていった家庭が複雑でしたから子供を育てるということひとつにしても苦労したんですよ。前くらいまでは実家へ帰るたびに別れになつているのですから、何かにつけて比較され、トラブルを入れられたりしましてね。十年(笑)それでどうしてなのって聞き返すと、半分半分といふんだから自分達は日本人でもないしアメリカ人でもない。だからちょっと前くらいまでは実家へ帰るたびに「帰つてこい、帰つてこい」といわれましたしね。私達二人の仲はうまくいったんですが私と子供、主人と子供となつて相手が入るとうまいかないんです。けれども子供も大きくなつて事情が解つくると、何故前の奥さんが家を出たかという事を理解するようになつたんです。でもむこうも自分の生んだ子ですし欲がりまして、親子の間も円満にくようになつたんです。でも主人を信頼して、現在は幸福になつていますしね。かりに人種がちがつても、相手を信頼してついてゆくという事が女には大切だと

思いますね。

Akira Beauty Shop



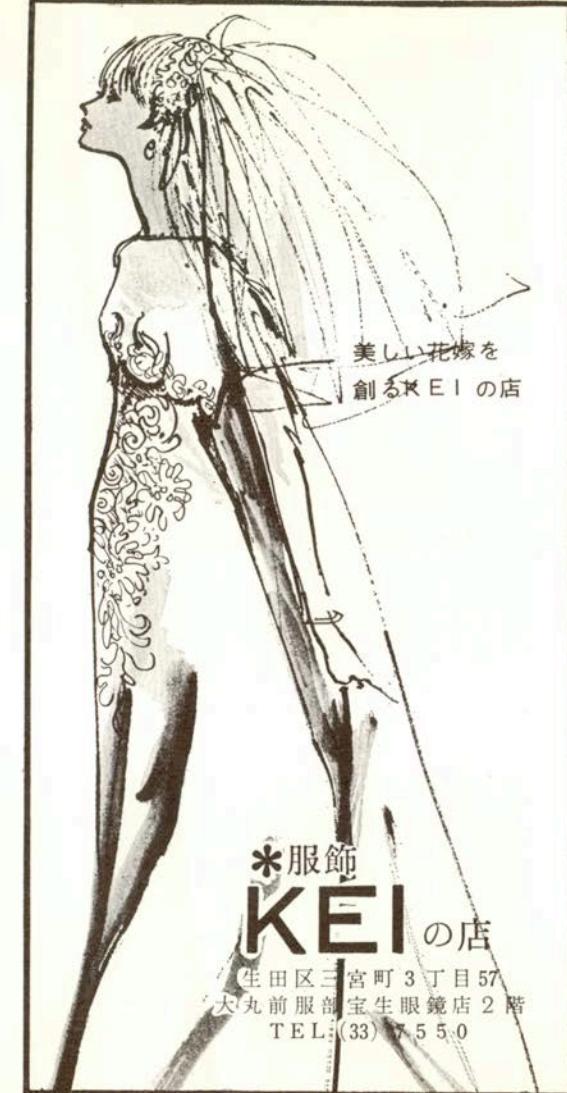
美容室

あきら

西野 明

電話予約制

三宮本通り TEL (33) 4461・6458



*服飾
KEI の店

生田区三宮町3丁目57
大丸前服部宝生眼鏡店2階
TEL: (33) 7555-0

スリースリー・チェーンのご案内

★グリルと喫茶

大丸南角浜側（住友生命ビル）
TEL. 33-1070-1

日曜祭日も営業、AM 8.30～PM 8.30
特に夕方は静かなムードでお食事が楽しめます。

小宴会、パーティ等もご相談下さい

★純洋酒スタンド

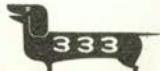
生田新道（赤い靴）上ル
TEL. 33-4730

10年のキャリアと豊富な洋酒で独特的の
ムードをお楽しみ下さい

★コーヒーショップ

栄町5（日錦ビル地階）
TEL. 34-8749

ビジネス街の小さなオアシスコーヒー
に 軽食に お気軽にご利用下さい。



レストラン
コラル キタ/

TEL. 23-2251

S.I.

ウタ子夫人 そうですね、主人はわりに無口なものですから、自然に私の方で、主人の行動で気持をくみとるわけなんです。例えば気嫌が悪いなと思えば控えるとか、気が嫌がいいなと思えば甘えてゆくしそこは夫婦ですから……（笑）主人は無口な反面、若いときからイタズラが好きで、年をとつておじいさんになるほどひどくなるようなんですよ（笑）

——どんないたずらですか。

シルマ－ そうですね。ラジオなんかで電話が鳴るでしょう。それを聞いてウタ子、電話をよつて怒鳴るとやりかけの仕事を放っぽつて飛んでくる……（笑）

そういうイタズラですね。そのときにはバッときて忘れるんです。

ウタ子夫人 そういうところは日本の男の人に比べて外国人のすぐれた点だと思いますね。

松岡 日本人はもうブックキラ棒ですからね。

——松岡先生はいかがですか、芸術家として後輩へのアドバイスは松岡 アドバイスというものはむづかしいですね。それによって場合が違いますしね。それぞれで生きてゆくより仕方がないと思いませんね。それを他人にアドバイスしても仕方がありませんしね。抽象的なことになりますけれど愛情と理解と信頼ということになるでしょうね。

結婚というのは契約とは違いますから、こんな筈ではなかった、ということはないと思います。何といつても結婚してからはじめて婚姻といふのは、それは結構なことです。

治子夫人 私は結婚するまでは、思っていたんですよ。今では夢に思がいでいたような奥さんは、なれていませんけど（笑）

私なんか職業柄若い学生なんかが相談に来るのはむづかしいです。そのためによく、あの人はとても好きなんだけどこの点だけは気に入らないんで何とか直せる方法はないでしょうかかってみえる人がいるのですが、そういう人はまだまだ結婚する資格がないと思うんですね。まだまだそういう見方をしているときには期は熟していませんね。本当に好きになれば何かもんひらくめて抱擁できると思いますし、そうでなければ本当の愛情ではないと思います。

ウタ子夫人 それとこの頃の若い人達には、手鍋さげてもつていう治子夫人 やはり相手を尊敬する

ということが大切ですね。そうすれば相手を失望させたくないですね。少しずつ自分を磨いていくこと。こうという気持ちになりますから、ウタ子夫人 わりに平凡なということがむつかしいのじゃないかと思いますね。だから一年経ては経つほど平凡な一生をきずいていきたいと思うようになりました。

松岡 こればかりはやつてみてはり長年かかるでしょうね。だから結婚して二年や三年で答はでませんよ。まあ、やり直しのきく間にやり直しをしなくてはならない場合もあるでしょうがね。

♥ 結婚の条件は？

——どんないたずらですか。

シルマ－ そうですね。ラジオなんかで電話が鳴るでしょう。それを聞いてウタ子、電話をよつて怒鳴るとやりかけの仕事を放っぽつて飛んでくる……（笑）

そういういタズラですね。そのときにはバッときて忘れるんです。

ウタ子夫人 そういうところは日本の男の人に比べて外国人のすぐれた点だと思いますね。

松岡 日本人はもうブックキラ棒ですからね。

——松岡先生はいかがですか、芸術家として後輩へのアドバイスは松岡 アドバイスというものはむづかしいですね。それによって場合が違いますしね。それぞれで生きてゆくより仕方がないと思いませんね。それを他人にアドバイスしても仕方がありませんしね。抽象的なことになりますけれど愛情と理解と信頼ということになるでしょうね。

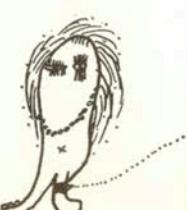
結婚というのは契約とは違いますから、こんな筈ではなかった、ということはないと思います。何といつても結婚してからはじめて婚姻といふのは、それは結構なことです。

治子夫人 私は結婚するまでは、思っていたんですよ。今では夢に思がいでいたような奥さんは、なれていませんけど（笑）

私なんか職業柄若い学生なんかが相談に来るのはむづかしいです。そのためによく、あの人はとても好きなんだけどこの点だけは気に入らないんで何とか直せる方法はないでしょうかかってみえる人がいるのですが、そういう人はまだまだ結婚する資格がないと思うんですね。まだまだそういう見方をしているときには期は熟していませんね。本当に好きになれば何かもんひらくめて抱擁できると思いますし、そうでなければ本当の愛情ではないと思います。

ウタ子夫人 それとこの頃の若い人達には、手鍋さげてもつていう治子夫人 やはり相手を尊敬する

ピンク・コーナー



日本男性の体格が貧弱で、アチラの海水浴場に行くと、全然映えないといった嘆きをよく聞きます。しかし、人間の魅力はボリュームで決まるものじゃない。からだは小さくとも、日本男性の肌は日本女性同様、キメがこまかくてスベスベしていて、それに毛が少ないことだ。そのよさがわからないアチラの女なんか、ケイベツしちゃつてよろしい。

だいたい、西洋紳士の服装は、からだを厳重に包んでしまって、出ているのは顔と手だけだが、これはなにも始めに礼儀作法があってそなつたものではない。ちょっとまくれば、毛むくぢやら腕が出るというのでは、隠せるだけは隠せということになつてもやむを得んでしよう。

テレビの人気番組に「逃亡者」というのがありました。その主人公のキンブル先生の知性的な紳士ぶりは、日本のマダムにため息をつかせたものだした。ところが、ワインシャツのエリがすこしはだけるとドス黒い密林地帯が迫つていて、端麗なマスクとはどうもうまくマッチしない。天下の美女キム・ノバクと共に演じるとき、男優は皆胸毛をそつたと申します。日本の男性の裸体はみな美しいのに、女性の方に胸毛礼賛派がふえてきたのは嘆かわしい傾向だと申せましょ。

峯夫人 それはそうですね。何もないところにとびこんでゆく人は少ないでしょうね。

ウタ子夫人 経済的に結びついて結婚に入りますけれど愛情そのものは表面的だと思いますね。だから離婚問題がすぐ後からやってくるんではないかと思うんですよ。

治子夫人 それに皆さんわりに早い結婚なさいますね。みんなでいいのかしらと思う場合もありませぬ。えらそがない方かも知れませんが、やはり現実というものを捉えて、それに一生懸命に努力していくより他に仕方がないでしようね。

私自身、結婚生活で一番大切なことは相手を理解することだと思います。相手の中にないものを見出そうとすれば、そこに不満も出てきますしね。ありのままの人間として受け入れることが大切ですね。私たちがお世話をしている人は学生が多いですから、四年間机を並べて勉強し、卒業してから結婚する人が多いんですよから相手をよく承知した上で結婚するわけですからわりに離婚も少ないですし、その点では安心してみる事ができます。

将来に夢をもつことも大切ですがれど、一番大事なのは現在ですから……。

松岡 たしかにそうですね。人生は甘いミッパばかりではないということです。またその中に人間的な楽しさというものがあると思いますね。

我々はあまりに良心的ですからアドバイスをするというようなことには向きません。

—— 松岡先生にお聞きしたいんで

すがいわゆる芸術家の場合はいかがでしよう。

松岡 まあ、一般の人に比べれば変っていますね。

峯夫人 固くるしいことは一切ご免だというんですね。

松岡 それはありますねえ（笑）それでも絵かきでもずい分固苦しい人はいますよ。

峯夫人 それでも普通のサラリーマンから比べればずいぶん呑気だと思いますわ。いくらお金がなくともね。

松岡 これでお金があれば苦労しませんがね（笑）

そのかわり自由さというものはありますね。

—— 現在の芸術家の結婚というのはどうですか

松岡 そうですね。まあ皆さんうまくいってなさる様です。それに不思議ですね。われナベに同じ人々のことをそういっては悪いんですけど（笑）。うまく釣合いかとされていますね。

良妻賢母型の奥さんというのはあまり見かけませんね。まあ、芸術家の場合はアドバイスはいりません。といえるでしょう。

—— 今日はお忙しいところどうもありがとうございました。

（於オリエンタルホテル）

X

X

X

ぴんく・こおなあ



恐妻会の会長として知られた故阿部真之助氏のことを書いた「恐妻」という本はショックでした。六十年もの長い間、女房を恐れること鬼神のごとくだつたという最大の理由はどこにあったかといふと、阿部さんが満州時代、性欲の飢渴感に耐えかねて、ただ女性をえあればいい、アナさえあればそれでいい（まさかそんな表現はしていないが）というので、相手の性格などをよくしたかめもせずに結婚を急いでやったというのです。ああ、恐ろしいかな。六十一年の不作の淵源実にここに存す。孔子やソクラテスの恐妻も同じ伝心ではないですか。赤線の味を知らず、性欲のハケ場がなかつたマジメ一方の聖人君子に起こりやすい悲劇といえましょう。赤線という便利？ なものが廃止された現在、ますますこういう悲劇の起りうる可能性はある。女房とはタダの赤線だぐらに考えて、あわてて飛びつくと、とんだ目にあう。古人いわく「タダほどこわいものはない」と。

しかし、若いときには適當な道楽をして、性欲の飢渴感に襲われたことのないティアイでも、恐妻病患者はいくらでもいるのではないかといわれれば、その通りです。でもその洋ちゃんにでも聞いてくれませません。竹田

アンケート

私たちのハネムーン

- ① コースは? : 費用はどのくらいかかりましたか。
 いちばん印象にのこつたこと。
 楽しかったこと。
 ④ 失敗談を一つ。
 これからハネムーンへゆかれるかたへアドバイスを。



香港・マカオへの旅

磯井 功(28才)三菱重工業KK
 恵子(23才)第二機械課勤務
 ① 大阪空港—香港—マカオ—香港
 —大阪

(昭和四〇年六月七日—六月十二日)

② ビザその他の予防注射代など含めて二三万円、ホテルは一泊十四ドル(アメリカドル)食費別
 ③ 西洋的なものと東洋的なものが美しく調和し、眠つているように静かなマカオの街のたたずまいは、狭い街々にあふれんばかりの人と車が行きかい、異様といつてよい位の雑踏的雰囲気をかもし出している香港のそれと対照的で印象に残った。またマカオではギャンブルが許されてカジノへ出かけていく遊んだり、香港の夜景が望のものに見渡せるナイトクラブでダンスを楽しんだり、シヨーを見たりして夜ぶけまで遊んだりして楽しかった。

④ 島内見物中、休憩のため立ち寄

④ ところが親切もほどほどに受けないといふ。というのは、家内を一人だけいっしょに誘いだそうと、あげくのはて日本系人にはそんな人はいないがそうでない人の親切のおしうりには気をつけた方が良いでしょ。また、日本語を話せる人が多く、言葉には不自由はしなかつたが飛行場のアナウンスなどはすべて英語で、ちょっと聞きちがえて乗りそこねかけた。

⑤ 新婚旅行で外国へ行きたないと考



♥ 常夏の島ブルー・ハワイへ

米田 一也(26才)三協工業KK
 取締役・副社長
 美佐子(21才)
 ① 東京(結婚式)—羽田—ホノルル—カウワイ島(二泊)—マウイ島(二泊)—ハワイ島(三泊)—オアフコ島(ホノルル)(四泊)

—羽田(十一泊十二日)
 ② 飛行機代、ホテルその他みやげのものなど含めて百万円ぐらい。
 ③ プレスリーの映画、ブルーハワイに出て来たホテルに泊つたが景色が大変すばらしかった。またカウワイ島の「シダの洞門」でハワイアンウエディングソングを演奏してくれるなどごく楽しかった。そして特に新婚旅行者には親切だった。

④ ところが親切もほどほどに受けないといふ。というのは、家内を一人だけいっしょに誘いだそうと、あげくのはて日本系人にはそんな人はいないがそうでない人の親切のおしうりには気をつけた方が良いでしょ。また、日本語を話せる人が多く、言葉には不自由はしなかつたが飛行場のアナウンスなどはすべて英語で、ちょっと聞きちがえて乗りそこねかけた。

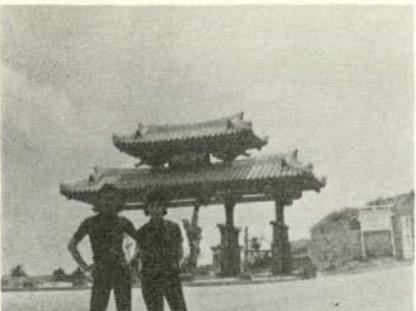
⑤ 新婚旅行で外国へ行きたないと考

えられている方には、ぜひハワイをお進めします。海外旅行の始めての方は、言葉に不自由もなく、風土も大変良いです。新婚旅行向きといえるでしょう。

つたホテルで妻が手洗いに立った時の事、ドアを開けると愛想

よくほほえみかける中国人の老婆がいて石ケン、タオルと気を配ってくれ、身づくりを手伝つてくれるのですが、旅行前友達から手洗いでもチップがいる」と聞いていたにもかかわらず、一銭も持ちあわさず、主人と一緒に来ていて自分は一銭も持っていない」と話したところ、急に態度がよそよそしくなり大変気まずい思いをしたこと。

⑤新婚旅行といふものは結婚式直後で二人共疲労が最高頂に達している時なのでゆつたりスケジュールを組む事が必要です。知らない土地で周囲が外人ばかりといった海外では、二人の信頼度がいつそう深まり、また国内旅行では味わえない解放感も満喫できてこういった意味でも独身時代の心がけ次第で海外旅行も可能になりますから、今後、結婚なさる方へは大いに海外への新婚旅行をお進めします。



珊瑚礁の島、沖縄への旅

吉原通雄（32才）洋画家

尚美（23才）

①（五泊六日）大阪—CAT航空にて那覇へ—全日空にて鹿児島経由福岡へ、小倉の友人を訪問、小倉日活ホテルに一泊、福岡—日航にて大阪へ帰着

②約十五万円

③エメラルド色の珊瑚礁を空から見た時、空港に降り立つてのどかな日ざしをあびたとき、人つ子一人居ない海岸で泳いだときなど都塵をはなれて別天地に来た美感がありうれしかったです

④日程の関係でCATという中華民国の飛行機で行きましたが、スチュワーデスが救命胴衣のつけ方などを説明する時、まず英語で説明した。さて次は日本語だろうと思つていたら中国語。

結局、何もわからないままでした。那覇市の郊外にアメリカ人向けの店だけのAIKEIDがあり、アメリカ人の店主につたない英語で安物の時計を一生懸命値切つて貰い、得意になつていった。その晩に動かなくなりました。

日本語ならくどく文句をつけたいところ、結局正札で同値のライターと換えてもらつのが精一杯でした。

⑤沖縄は車も人も右側通行、道を横断する時は先ず左を見て下さい。またたいていの花嫁さんは見送りの人から花束をもつて旅行に出かけますが、沖縄へ出かけの場合、検疫所でひつかかります。晴れの門出にとがめられると気分が悪いのですからあら

かじめ知つておかれますよう。



伊豆、箱根ドライブ新婚旅行

松原潤二（28才）神戸日野モー

順子（23才）ターケーKK勤務

①神戸—静岡（一泊）—富士五湖一周—山中湖（一泊）—箱根一周（一泊）—伊藤—修善寺（一泊）

②旅館代、ガソリン代で六万円

③季節が冬で（二月）雪化粧をしました。富士山が非常にきれいで印象的

し、また、道の良いところを選んでいくこと。そして、しつかりして計画を立て、あまり長く乗らないこと。（一日五六時間）

二人の新しい門出に際し、ちょっとした事故でも気まずくなるだろうし、無理をしないでしん

ちょううに運転するよう心がけること、そこにおのぞと信頼感が増すことでしょう。





神戸にあります
ヨコハマ

8月15日
オープン

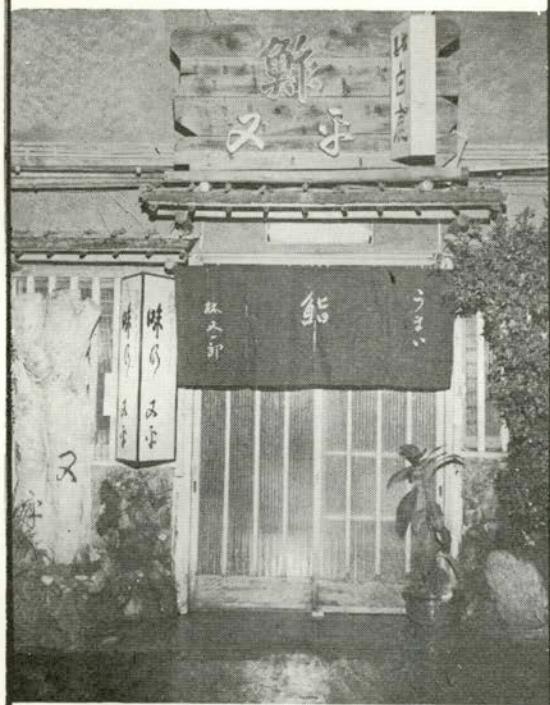
ショーカー ザーキット

アバスター・レーン 2階

神戸市生田区江戸町95(花時計西側) T E L · 39-4169



神戸っ子の味覚に
ぴったり、又平の早馴れ鮓

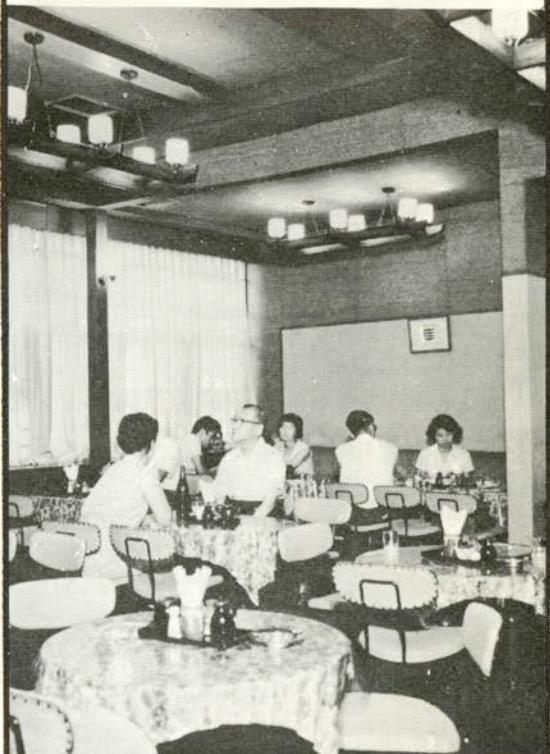


神戸三宮生田ノ社ノ西

鮓の又平

電話・三の宮 ③0935

ファミリーなムードで楽しい食事



元町通3丁目
本高砂屋2階
TEL ③7368

グリル喫茶





★神戸を楽しむ私のコース ⑬

三宮界限そぞろ歩き

川 端 訓
神戸教育委員会指導主事

神戸で生まれ、神戸で育った私は、時々、三宮界限をそぞろ歩きするのが好きである。特に晚秋から初冬にかけての美しい裏山を背景にしての夕方の雰囲気は格別である。

これは中学生の頃、毎週土曜日の夕方から夜遅くまで、仲の良い友人數名連れ立って、平野から有馬道、新聞地通り、神戸駅前、元町通り、三宮神社、トーアロード、そして再度筋を経て平野に帰着するという散歩の習慣が、今でも懐かしい思い出として身にこびりついているからであろう。

現在の私は、勤めからの帰途、喫茶店「レダ」に寄るのが常である。ここで私は十数年来のコーヒーダイナーの良客である。「レダ」はかつては朝日会館の東北向い角にあったビカデリー映画劇場の南側に、神戸唯一のテラス付きの明かるい喫茶店として外人にも親しまれた店であった。不幸にも映画館の火災のため、現在は三上洋家具店の裏小路で、来年度の店内拡張を期して、十人許りしか座れないが小綺麗なスタイルの店で常連を良客として営業している。コーヒーは神戸市民の生活の中に深く



庶民のいこいの場ジャンジャン市場

はいり込んでいて各自好みのコーヒースタンドを憩いの場所としているがこの「レダ」のコーヒーも香りと味がよいので私はここを安心の出来る家族との待ち合わせの場所として利用している位である。ここでゆっくり安息の時間を過して、三宮センター街に出ると、星電社前を上に入つて、いわゆる「チャンチャン市場」を通るわけである。この周辺は若い娘さんや、気取った人は寄りつかないようであるが、私にとっては子供の頃の夜店を思い出させ、郷愁をそぞろる。表通りの店とは似つかわしくなく、歩道から店内丸見えの軒並みの飲食店や屋台店から関東煮、

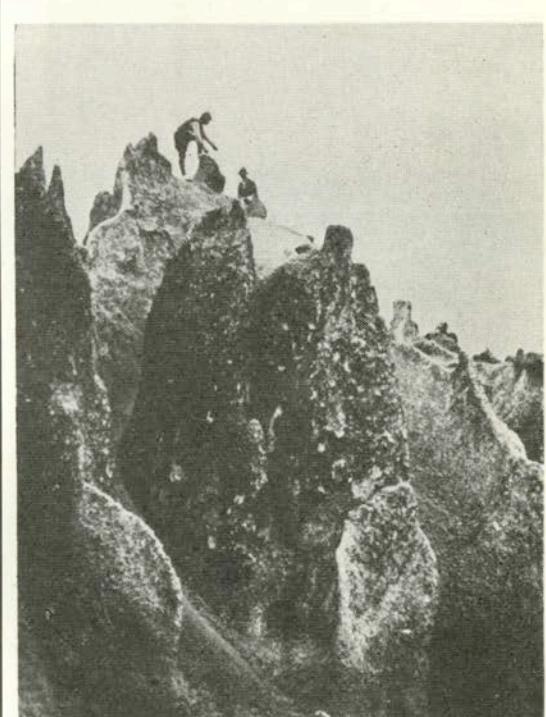
ホルモン焼、焼鳥、貝の壺焼などに充満していく食欲旺盛なもの胃袋を刺激する。関東煮店は労働者風の客が多いが、かつて友人に利用している位である。ここでランチ料理屋は、あんがいサラリーマンが多かった。これは料理は衛生的で、その上、値が安く、店主が、私にとっては子供の頃の夜店の主人など親みやすく肩がこらないうときていてるからであろう。毎日お偉い方のしたで気苦労して働いている人は、たまにはこの場所に来て、自分の生活を見直し、翌日からの活力ある生活への指針を見出すならば結構なことではないかと思う。

ここを出て、戦後いち早く生田神社前ガード南側に店開きした、三軒の南京豆屋の一軒で落花生と花あられを買い、三宮市場北側から柳筋を絹て「日東館書店」に立ち寄り新刊書を漁つて知識欲を満足させる。

次に閉店間際の元ブラを楽しみ、宇治川から市電で帰宅するのが定石である。

神戸遊戯誌

25



大正 12、3 年頃のロックガーデン写真は直木重一郎氏提供

登 山 ②
青 木 重 雄

登山が山歩きや宮詣り程度のものから純粹な意味での高山登はん技術を身につけたものになりはじめたのは、大正十年ごろだった。それまでも、一部の人々はすでにスキーによる冬山登山にも乗り出していたし、ロープなどを使ってのロック・クライミングは、すでに大正五年ごろから阪神間では芦屋のロックガーデンで練習をする登山家が現われていた。そういう人々が集つて十二年ごろに芦屋を中心に R・C・C（ロック・クライミング・クラブ）が生れたが、最初のメンバーは榎谷徹造、藤木九三、後藤正彦（三菱造船技師）直木重一郎らの数名だったが、後には四十名ほどにふえた。なお、直木がロック・ガーデンの命名者だった。

だが、高度の登山技術が一般に認められるようになつたのは大正十年ごろから大正末へかけてで、このころに

は外国の先進技術が続々と紹介されるようになつていて、神戸では登山界の第一人者藤木九三が朝日新聞社神戸支局をしていて、新聞紙面で大いに登山についての啓蒙記事を書いたことも預かって力があった。また、大正十年九月に樋有恒がスイスのアイガー東山稜に世界で初めて登はんしたという快ニュースが伝わると、日本の登山界はめざめたようアルプス級の高山への登山熱をみせ始めた。樋はそれ以前からヨーロッパに長いこといてヨーロッパ式登山技術を身につけたうえでアイガーを征服してきたのだが、彼が十一年に帰国してヨーロッパ登山法を宣伝すると、これがきっかけとなつて本格的な登山を試みる人々の数がいよいよふえてきた。アイガーといひえれば、八月中旬の日本人による北壁遭難の悲劇を思い出す。樋氏の壮舉から実に四十三年振りにアイガー

北壁頂上に日本人の足跡が高田光政氏によつて印せられたことは全くすばらしい快挙だつたが、同行の渡部恒明氏の墜落死は、かえすがえすも痛ましい出来事だつた。今まで二十七人の世界の一流登山家が死んだ「魔の北壁」といわれているだけに、いつそうドラマチックな悲痛さを感じる。フィアンセの北山和子さんが西独ミンヘンから駆けつけて死体と対面したことなど、痛ましさはさらに倍加された。渡部氏の冥福を心から祈るばかりだ。

さて、十年ごろから高度な登山技術が広く研究され、一般にも実行され出したわけだが、とくに学校における本格的な登山部の創設が盛んになり、早稲田、慶應、一高、三高、京都一中などはいち早く活動を開始していった。ところで、その頃までにすでに高度な登山法に乗り出していた少數の関西の先覚者たちの名を拾つてみると、まず、大正三年一月スキー富士登山をした金井勝三郎（甲子園在住、当時は今津村）が第一に挙げられる。そもそも、日本へスキー術が実際に紹介されたのは明治四十四年で、同年一月に米日のオーストラリア駐在武官レルヒが新潟県の高田で軍人や民間人に教えたのが最初だった。彼は六甲山へもやつて来てスキーを試みたことがあった。地球は年々暖くなつて来ているといわれているが、そのためか当時は日本の山にも今日とは比べものにならぬぐらい雪が多かったので、六甲山なども昔ははるかに積雪に恵まれていたので、レルヒも悠々と滑つたらしかつた。有馬のお医者さんの中野理氏は、「スキーのれいめい」という著書の中で、スキーは日本へすでに明治三十年代にはいつて来た、と書いているが、實際には四十二年ごろが本当のようだ。大正へはいると、スキー登山を試みる人がちよいちよい出て來た。金井ついで京都の田中喜左衛門（もつとも関西でスキーを初めはいたのはこの人で、金井よりは早かつた）が大正七年に山本吉之助らといっしょにスキーで徳本峠から上高地—中尾峠—船津へ出かけて成功した。この人は伊吹山でもよく滑つた。同じころ神戸には神戸加島銀行の春日

英一と神戸製鋼の田中与市らがいて「六甲山スキークラブ」を作つて、初步的なスキーに精を出してゐた。これらの古いスキー組につづいて大正十年ごろから津田周二、水野祥太郎（阪大教授）小森太郎らがやり出した。津田らははじめ先生もなく我流でおぼえ、スキー道具は友人に頼んで新潟に注文したものだつたが、十一年に伊吹へひつて朝日新聞スキー講習会（講師中山再一郎）へ飛び込んだ。当時はまだスキー道具というものがもの珍らしく、そのころ立山へ行く時スキーを汽車の中へ持ち込んだら「それで何を釣るんですか」と車内の客から聞かれたことがあると、津田氏は語つてゐる。

昭和三、四年ごろになると、がぜん各大学の山岳部のスキー部の数がめだつてふえてきた。なかでも、早大、慶應、東大、立大、学習院、京大、甲南、同志社などが以後競争的に日本アルプスを中心としたスキー登山を行なつた。この間（昭和二年十二月）早大生ら龍川谷でナダレ遭難、四名死亡（三年三月）慶大大島亮吉前穂北尾根で墜死（五年一月）京大生ら剣沢で遭難などの事故が発生している。関学にスキー部ができたのは昭和八年になつてからで、山岳部と分かれたものだが、それ以前にはスキー部がいなかつたというわけではなく、大正十五年ごろには山岳部に入江英一というスキー部がいたし、昭和六年には秋山巖といううまいスキー部がいた。神戸高商山岳部にも大正十三年ごろ三好毅一というスキー部がいたが、その後毎日新聞社員となり病死した。

とはいっても、一般的のスキー部の数は今日と比べるとまことに少ないもので、大正十四年頃に出来た「神戸スキークラブ（メンバーにマナスル第三回遠征隊長の田口二郎がいた）」がそれでも、三、四十人の会員があつたようだ。昭和三、四年ごろ「京阪神スキー・マン談議会」という京阪神のスキークラブが集つて一年に一回の会合を催したが、五十人ほどしか集まらなかつた。

神戸うまいもん巡礼

赤 尾 兜 子

異色料理

今日は二つの異色料理をみることにしよう。

そのひとつは沖縄料理である。沖縄は昔から食生活がまずしく、イモを常食とし、豚を材にした料理は、結婚などの人生的な行事の場合に限られていた。

「那覇」(生田区三宮町二丁目、朝日会館北西入る)はその沖縄料理を看板にした店だが、もともと和食の板前だった主人が、五年ほど沖縄の料亭で板前をし、戦後帰国して、もう和食には余地がないと、沖縄料理へふみきつただけに、材は豚、鳥、牛を使うが、和食でみがいた腕と創意を加えて、ずいぶん見場をよく作った料理にしあげている。

一般向には「ソウキ焼」(三五〇円から)「ラフティ」(二〇〇円)をすすめる。「ソウキ焼」は豚の骨つきにタレをつけてやきあげ、南方系の季節の野菜をあしらったもの。蘇鉄みそ、ニンニクなどをませた入りのタレをつけて食べるが、十分に脂氣があつて、その割に舌ざわりがいい。もつと脂っこさがほしい人なら「ラフティ」つまり豚の三枚肉のたきつめがよからう。ごくやわらかく、ろい脂の味がたんのうできる。

さらに手ごろには昼間(午前十一時——午後二時)に「好み定食」(二〇〇円)があり、牛、豚ロース、牛レバー、若鶏のいずれかを焼いたものに生野菜をあしらひ、赤だし、漬物、ご飯。はやりのカロリー計算では、

この一食に千三百カロリーはあるらしく、BG客も多い左党には、琉球古酒(一五〇円)があり、これを口にくみつつ、耳皮酢物(一〇〇円)をつづくのもなかなか味わいがある。ほかに「足テビチ」(豚足の汁、二〇〇円から)のスープの味、その秀逸さも私にはすてがたい。

一階のカウンター席は十数名、二階の席数は二十人くらい。この店へ通い食べづづけて結核を全治したという人もあるといふ、まんざら作りごとではなさそうである。司厨にいる若い板前補助など店員はすべて沖縄徳之島の出身。

異色という点では、台湾料理の「丸玉食堂」(本店・国

鉄元町駅西口側、支店・国鉄元町——三宮間のガード下中ほど)が印象的といえよう。台湾料理は、むろん中華料理の一種なのだが、やはり台湾料理の名があるだけそこにはいくぶん風味のちがいが感じられる。

主人の林発さんは、何でも台湾で早く父を失い子供のころから肉屋の見習などをさんざん苦労したらしくが、来日して、台湾料理を看板にする店を開いてから二十年。店も三軒、息子に支店を仕切らせるという今日にいたつたが、十年ほど前に私が知るようになつてからでも、みちがえるほど店を美しくし、客の出入を繁昌させたものだ。口数も多いが、働き者である。

この店でまず特長のあるものは、台湾そばの「ロー

麺」(一五〇円)である。自家製で、中華そばよりもやや太く、注文するとカウンターの前の大好きな中華なべで、スープ、かたくり粉、卵をまぜて軽くいためつつ、「玉子とじ」のように閉じる。いくぶん汁気があり、やや厚ぼったい味。秋、冬場などは熱いまま食べるととくに美味に感じる。

豚肉のいい部分を、ダシにつけておいてひきあげて小片に切った「ローバ」(一二〇円)のほつてり、くつきりした味も、特種なものだ。ほかに豚の腸づめ(一二〇円)は酒、ビールの肴に恰好の相手だし、焼米粉(ピーフン、一二〇円)も小品ながら、まとまった味をもつ。この店、いささか客が騒々しい感じがしないでもない



「那覇」の見ばよく飾れた「ソウキ焼」と「ラフティ」



「丸王食堂」自家製ローラン(150円) 秋・冬場は特に美味しい。

が、総じて、一品の値段が安値である。こんど本店の二階には、小さっぱりした日本座敷を三間新設した。テープル料理で一人前六〇〇円から。これもかなり安値である。

ただ一言ことわっておくが、この店のどの料理も、そのおおかたは見た目に美しいとはいえない。しかし、味のものを楽しみたい人は、時々訪れてみて、損をしたということは、まずなかろう、と私は思う。

沖縄、台湾のこの二料理を看板にした店は、関西でもまれである。「各国料理がある神戸」という評判を裏づける意味でおもしろい存在だということもできる。

紳士入門 (31)
How to be a gentleman

不況紳士

文・竹田洋太郎
え・石阪春生

大蔵省や日銀の幹部が集まつて「日本經濟の不況はすでに、底入れ」した。これからは徐々に上向くだろう」といつている。これはもちろん、大蔵省、日銀はいくら不況でもつぶれることがないので、樂觀的でおれるのであって、本当に不況が回復すると思っている人は、民間ではそう多くない。

現在、ここに「不況紳士」なる題のもとに云々するのは、あるいは時期を失したかと思われる向きもあろうが不況はむしろ今後の問題である。とくに日本經濟がオトナの經濟に入った以上、不況が慢性的、あるいは、周期的にくるものと考え、それについて研鑽をはげむことはあらゆる職種の紳士にとって必要であると考える。

政府のある高官は、このような場合こそ、經營者が奮起して、難局打開に当たるべきであると警鐘を打ち鳴らしている。されば、どこをどう奮起するのであるか。

筆者をしていわしむれば、この時こそ、肩の力を抜いて静かに周囲の状況に目をとめるべきなのである。ピッチに立った投手が、ここで奮起して、あくまで三振をとらざばやまず、と考えたとしたら、かえって危険であることは明らかである。

というより、紳士は責任ある地位にあれば、決してその職務に「一生懸命」になつてはいけないのである。英國紳士の特徴は「アマチュアリズム」にあるといふ。首相になつても、師団長になつて前線にあつても、あくまで専門家としてカンカンになつてはいけない。それを体得しておれば、不況なんかは最初からこわくない。

だいいち、好況だ、とか、所得倍増だとかの声にいつ

までも浮かされて、負けてはならじと設備投資に狂奔した企業の末路を見てもわかるではないか。なぜなら、その經營者は企業經營に一生懸命になりすぎたからなのである。

そこへ不況がやってくる。在庫はふえる。販売競争にそれこそカンカンになる。結局のところが下らぬ手形をつかまされてペーという事例も多い。これも一生懸命の罪である。そこで「不況」の声をきけば、ますなすことは「休む」ことである。会社の売上げが伸び設備も拡張されている場合、經營者は何をしているかといえば、極めて忙しい中にも日夜時間をつくり、ゴルフにお茶屋にと出没し「精力的」だと人にいわれて喜んでいる。これは紳士の風上におけるといつてもよい。忙しい時には、できるだけ仕事を部下にまかせ、社長室で相談のテレビでも見ておればよいのだ。好況ならほっておいても会社は発展するものである。

そこで場面は不況へと転換する。經營者が忙しいと、その場面が転換したことを察知できないが、ボンヤリしておれば案外早くわかるものだ。そこで次になすべきことは「休む」ことである。ただちに従業員を休ませる。時間外勤務を少なくし、社との競争はほどほどにする昼休みの時間は他社の二倍を与える。社員は喜んで能率を落してくれるだろう。そこで経費は自然と節約されるそして經營者も休む。金があれば遊ぶもよし、なければ本でも読む。

いいかえれば、紳士たる經營者は好況も不況もブラブラしておればよいのである。プログラできないのは貧乏

性という。貧乏性とは働けば働くほどまくいかないので不幸なことにこの人物は紳士になれないといつてよい。紳士は自己の企業に一生懸命にならないから、経界全般の動向、業界の動き、企業の内容を客観的に判断できる。それが自然と企業の発展に役立つことくらいは先刻ご承知だろうし、そこから生まれるアイデアは現実性を持つてくる。大きな決断もできるわけだ。

そこで、不況時に際しては、紳士は会社の机の上になにを置くべきかが主要な問題となってくる。経済雑誌、経営学の書物は家に置いておけばよろしい。机の引出には、爪切り、耳かき。上にはパイプにタバコ、探偵小説か隨筆集。ときに双眼鏡をそなえ、窓ごしに他のビルの執務状態を観察するのもよい。ランチタイムはゆっくりととり、デパート、スーパー、商店街をブラブラ歩いて、歩行者の表情から世論の動向を察知しなければなるま

い。

もし、好況のキザシがどこかで現われたことを知れば部下をしてそれに向かうよう努力させる。部下は喜んで働くし、これもほっておいて、士気を向上させる種になる。

「ああ、それをなぜ三年前にいつてくれたか」と嘆かれるむきもあるだろう。だが、この「紳士入門」はじまってすでに三十一回となる。最初からの読者は恐らく知らず知らずにこの極意を会得し、不況に対処してしまったものと思う。ゲンに倒産、あるいは会社更生法適用の申請を行った経営者で、神戸っ子の愛読者であった人はないではないか。

この原則は企業を経営する紳士のみに当てはまるだけではないが、これより各職場に従事する紳士の心得についてさらに詳述することにしたい。

